

# 播磨町まちづくりアドバイザー 令和4年度活動報告書

## まちアド 2022 Annual Report



### ○ 担当業務

- ・ 福祉会館運営事業支援
- ・ 防災と福祉の連携促進事業
- ・ はりま風薫るフェスタ運営事業
- ・ 地域福祉計画策定事業
- ・ 地域コミュニティ推進事業
- ・ 環境衛生事業（環境衛生委員会への出席）
- ・ 男女共同参画行動計画策定業務
- ・ 障害者計画策定事業
- ・ 行政評価研修
- ・ 新システム導入の検討



### ○ 研修講師等

- 7月8日 議会研修会「コミュニティをきっかけとしたこれからのまちづくり」
- 11月24日 行政評価研修「Harima to the Future」
- 11月25日 第47回東播磨地区自治会研究会「ちょっと気になるからはじめる、つながる地域のつくりかた」
- 1月25日 介護ボランティア「少子高齢化の実情と多様な社会参加の魅力」
- 2月2日 民生児童委員定例会「つながりで健康づくり」

### ○ まちアドおしゃべり会

毎週1回、播磨町内にある4コミセンをまわっておしゃべり会を開催しました。自治会役員、サークル団体、空き家を探している方、近所にお住まいの方などいろいろな方がいらっしやいます。ちょっと気になることや、どうしていいかわからないことなどの相談会になっています。

【参加者数】  
野添コミセン：24人  
南部コミセン：30人  
東部コミセン：13人  
西部コミセン：9人  
※各12回開催。合計48回開催。

### ○ 広報はりま「まちアド通信」

- |                            |                                    |
|----------------------------|------------------------------------|
| 4月協働のまちづくりについての職員研修を開催しました | 10月まちづくり講演会が開催されました                |
| 5月まちづくりや地域活動の相談など、お声かけください | 11月協働のまちづくりの「考え方ガイド」をつくりました        |
| 6月活動を広く知ってもらうために           | 12月オープンミーティングでファシリテーターを務めました       |
| 7月地域の活動拠点としてのコミュニティセンター    | 1月学びを通じたつながりづくり                    |
| 8月自治会長研修会が開催されました          | 2月これからのまちづくりと地域活動についてフォーラムが開催されました |
| 9月まちづくりアドバイザーの日々の業務        | 3月播磨町の団体や活動の発表・交流会がありました           |

### 播磨町まちづくり アドバイザーとは

播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズにより細かく対応するため、令和2（2020）年度からまちづくりの専門職員として「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援し、地域力の向上を図ってまいります。

播磨町でまちづくりアドバイザーの制度がはじめてから3年経ちました。令和4年度は、協働のまちづくり宣言が発出され、播磨町のまちづくりが大きく変化しはじめた1年だったように感じています。徐々に地域の皆さんからの相談も増え、さらに行政内部での役割も変化しています。

中でも今年度は、行政、地域問わず「対話する場」に関わるが増えました。またそれらを通じて、コミュニティづくりや、つながりづくりの支援をすすめることができました。まちづくりをすすめるためには、何よりも話し合うこと、対話の場が大切だと思っています。そして、より良い対話の場を作るには少しだけ話し合いの技術も必要です。これからの播磨町が対話を通じた協働のまちになっていく、そんな空気を感じた1年でした。

## 01 協働のまちづくりをすすめるための 対話する場のデザイン

協働をすすめるためには何よりも話し合えることが大切です。行政内部、地域いろんなところで話し合い（対話）の場をデザインしました。

### 地域福祉計画ワークショップ

播磨町で、はじめて策定する地域福祉計画の検討にあたって、住民ワークショップを企画運営しました。多世代で60人があつまり、対話を重ねました。



### 町長と語ろう「オープンミーティング」

4つのコミセンで町長と対話する場としてオープンミーティングが開催されました。話し合いが円滑に進むように、ファシリテーターを務めました。



### 職員研修

庁内でも対話の場をつくるための職員研修を実施しています。写真はまちづくりカードゲーム Harima to the future を使った研修の様子です。



### 民生児童委員協議会定例会

令和4年度は民生児童委員の改選もありました。研修を受けるだけでなく、情報共有できる場として、定例会で対話の場を設けました。

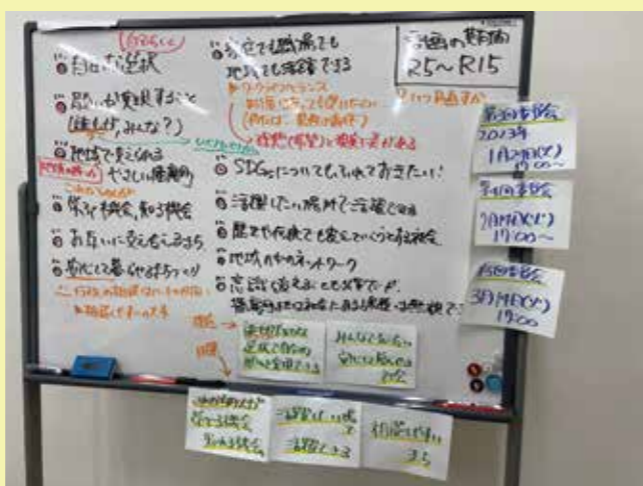


## 03 これからのまちを考える 計画策定支援

分野を問わず様々な計画策定に関わりました。主に議論の可視化、専門委員との協議などを重ね、計画と計画が相互につながるようにサポートしました。

#### 【関わった計画】

- ・地域福祉計画
- ・男女共同参画行動計画
- ・障害者計画策定事業
- ・播磨町空家等対策計画

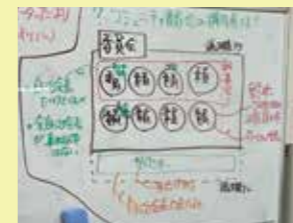


## 02 自分たちのまちは自分たちでつくる 地域コミュニティ支援

行政内部に限らず、実際にコミセンや地域の会合に行きながら、コミュニティ支援を進めました。これからもコミュニティが維持できるためにどのような仕組みや体制を作れば良いか対話を重ねました。

### 野添コミセン組織改革プロジェクト

野添コミュニティ委員会では、今後のコミュニティ委員会の運営方法について検討をはじめました。行事の検討方法、コミュニティ委員会の構成員、連合自治会との役割分担などを話し合っています。



#### 組織改革プロジェクト会議の実施内容

- ・プロジェクト会議：8回開催
- ・野添地区のコミュニティ活動に関するアンケート（回収率25.0%）



### コミュニティのあり方検討委員会

播磨町では、協働のまちづくり宣言に基づき、これからのコミュニティのあり方について有識者を交えて検討をはじめました。主に会議の進行の支援を進めました。

#### コミュニティのあり方検討委員会

- ・会議開催：計3回
- ・内部会議（協働連携会議：計3回）



### 自治会等の地縁組織支援

自治会やシニアクラブなどの地縁組織の個別サポートもおこなっています。単自治会でアンケートを実施するなど、専門領域での支援をおこないました。

#### 【個別支援の内容】

- ・自治会公式LINEの立ち上げ
- ・会計支援
- ・自治会運営アンケート制作・集計



### 協働のまちづくり宣言 考え方ガイドづくり

2022年5月におこなった「協働のまちづくり宣言」をよりわかりやすくするために、「考え方ガイド」を作成し、そのデザインを担いました。

#### 【考え方ガイドの作成ポイント】

- ・わかりやすくイラストを多用
- ・イラストは町民有志で作成



### 研修会の企画準備

コミュニティ支援のための学びの機会として、まちづくり講演会の企画準備に関わりました。当日はグラレコをするなど、記録に残る講演会としました。

#### 【講演会の内容】

- 「これからの播磨町のまちづくり」
- 講師：柏木登起さん / 一般財団法人明石コミュニティ創造協会

